

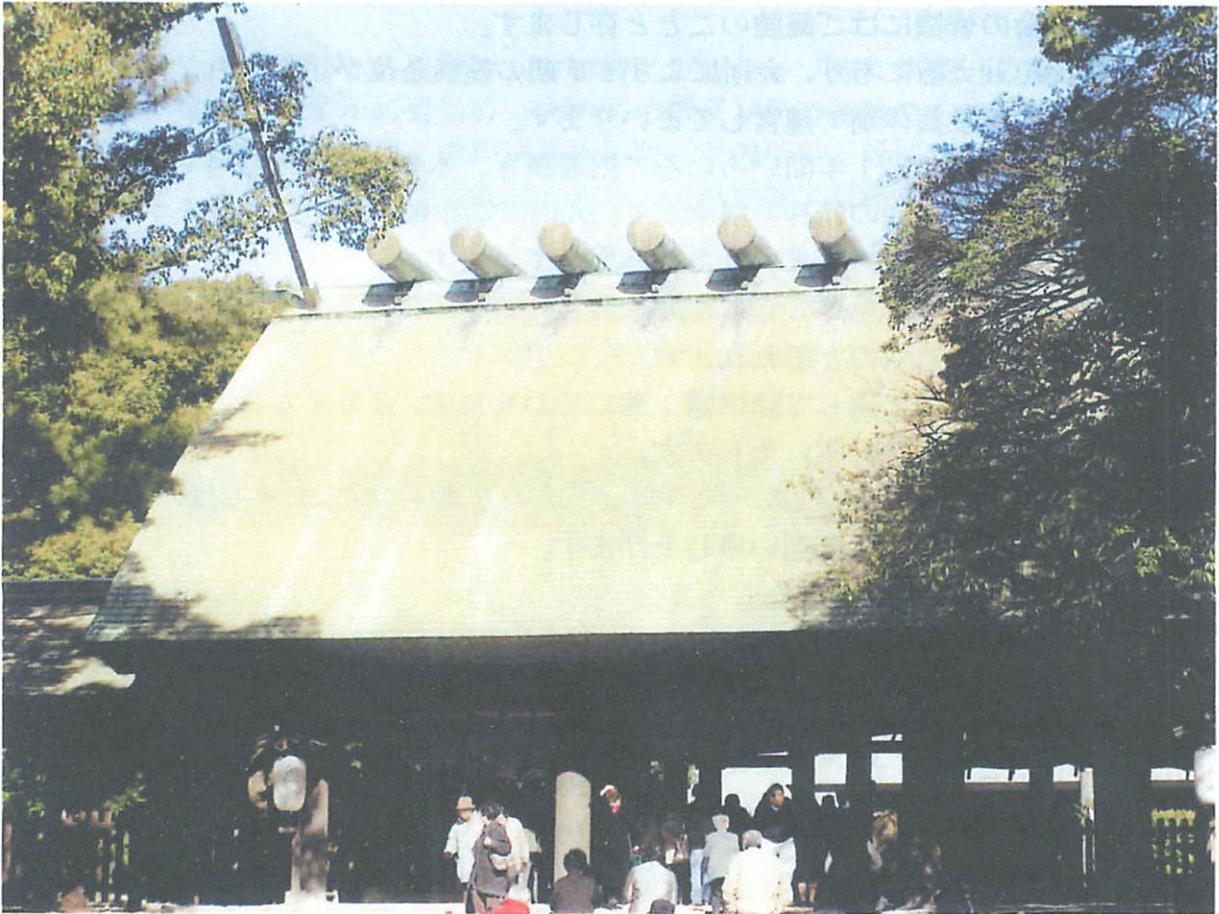
\*\*\*\*\*

# 昭和こじょう会便り

43号

\*\*\*\*\*

2006年3月号



熱田神宮

発行 : 名古屋市高年大学鯉城学園～昭和鯉城会

## 43号発行にあたって

昭和鯨城会副会長（18期） 後藤 昇三

今年は年明けから地球規模で記録的な寒さとなり、日本列島も1月に入ってから各地で豪雪が降り人命及び家屋・交通等々に甚大な被害を被りました。亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げますと共に、災害の一日も早く復旧されることを祈っております。

鯨城学園も今年で創立20周年の節目を迎え、その記念式典が3月28日（火）に市民会館で開催されることになっています。学園のさらなる発展を願っています。

昭和鯨城会の皆様にはご健勝のことと存じます。

さて新年度を迎えるに当り、会則により17期の役員各位が退任され、4月から18期、19期の新役員体制で運営してまいります。

17期の皆様にはこの1年間いろいろご指導頂き、本当に有難うございました。

18年度も昭和鯨城会の精神を継承して、区内で昭和鯨城会の知名度をボランティア活動を通じて、一層高めてまいりたいと思っています。

新会員として19期生が30名程度入会される予定になっており、会員総数は200名前後になるものと思われまます。

現在役員会で新年度に関して諸準備を進めております。4月14日の年次総会で新役員の構成、事業計画を提案いたします。

昭和鯨城会の発展のため、役員一同頑張っておりますので、未熟ではございますが、皆様のご支援の程宜しく御願ひ申し上げます。

以上

—目次—	
表紙 熱田神宮（写真）	P10 ホノルルマラソンの思い出
P2 43号発行にあたって	P11 すばる会の活動
P3 退任にあたって	P12 一木会の活動
P4 活動結果報告	P13 リズム体操クラブ
P5 今後の活動計画	P14 グランドゴルフ
P6 NHKの見学	P15 ボランティア
P7 熱田神宮の参拝	P16 俳句
P8 大須演芸場寄席	P17 短歌
P9 アラスカ紀行	P18 ニュース、編集後記

## 退任にあたって

平成17年度昭和鯨城会 会長 辻 慶明

会長という大役を拝任して早1年、皆様の支えを頂きお陰様で無事任期を迎えようとしています。来る4月14日の総会をもちまして、昭和鯨城会は18期、19期生が中心となって運営にあたる事になります。

この1年を振り返りますと、広報誌「昭和こじょう会便り」を4回発行、毎月実施の楽しい行事（散策、見学会、ウォーキング）等、又力作ぞろいの「趣味の作品展」の大成功を収める事が出来ました。土鈴を作り、区協賛行事の区民まつり、福祉まつりへ出店するなど、苦労は多かったものの皆様の協力を得て楽しく終えることが出来ました。

今年は区役所「街づくり推進室」の要請によるマップ作り作業への参加や各種施設への雑巾、タオルの贈呈等、初めてのボランティア活動にも拘らず、多数の方のご協力とご参加を頂く事が出来ました。この活動が縁になり、介護施設のボランティアや草木の剪定等の依頼もあり、今後地域に貢献する活動が広がりつつあります。

会員の皆様がこういった企画に積極的に参加され笑顔の輪が広がった事、そして多くの友人に出会えたことが嬉しい思い出となり、私の大きな財産となりました。

つたない私が恙無く会長の任務を果たすことが出来ましたのも、一重に17期の運営委員の皆様の支援があったればこそと心からお礼申し上げます。

今後昭和鯨城会運営を担う18期、19期の役員の皆様、何かとご苦勞の多いことと思いますが、楽しい昭和鯨城会を目指して尽力されますよう宜しくお願いします。

末筆になりましたが、会員の皆様様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ私の挨拶に代えさせていただきます。

以上

## 活動結果報告

(平成18年1月より3月の主な活動)

### \*会議

- 1月 13日 (金) 1月度役員会
- 1月 16日 (月) 鯨城会幹事会(可児島副会長)
- 1月 19日 (金) 鯨城会代議員会(社会長)
- 2月 3日 (金) 2月度役員会
- 2月 15日 (水) 19期生卒業予定者への昭和鯨城会入会説明会
- 2月 20日 (月) 鯨城会幹事会(可児島副会長)
- 2月 22日 (水) 19期生新入会員役員選任(後藤副会長)
- 3月 2日 (木) 3月度役員会
- 3月 13日 (月) 鯨城会幹事会(可児島副会長)
- 3月 16日 (木) 鯨城会代議員会(社会長)

### \*行事

- 1月 19日 (木) 熱田神宮見学会
- 2月 17日 (金) 大須演芸場
- 3月 7日 (火) グランドゴルフ大会開催
- 3月 9日 (木) 本部鯨城会式典(鯨城学園5階ホール)
- 3月 16日 (木) 名古屋气象台見学会
- 3月 22日 (水) ドリーム会(名古屋市芸術創造センター)
- 3月 28日 (火) 鯨城学園式典(市民会館)

### \*その他

- 1月 23日 (木) 本部鯨城ニュース第6号受領
- 1月 25日 (土) 「昭和こじょう会便り」臨時号印刷 配布
- 3月 中旬 「昭和こじょう会便り」43号印刷、配布

### \* 訃報

大橋 進さん 17期 地域(川原) 18年2月26日 ご逝去  
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。 合掌

## 今後の活動計画

---

---

4月～6月の行事予定をお知らせします。

下記の情報とチラシをご覧の上、ぜひご参加下さい。

各月とも参加は自由で、事前予約の必要はありません。

### \*4月29日(土)緑の日 八事山歩こう会

昭和区の企画で恒例の「八事山歩こう会」が興正寺公園で開催されます。

昭和鯉城会としても参加します。詳しくは別途案内致しますが会員及びご家族をお誘いの上ご参加ください。

集合時間 午前10時30分

集合場所 八事興正寺公園内(目印に鯉城会の旗を立てます)

アクセス 地下鉄八事駅下車①番出口

### \*5月18日(木) 瀬戸市 海上の森ハイキング

里山の小さな春を見つけながら散策を楽しみましょう。

集合場所、時間 愛知環状線山口駅改札口 9時30分

詳細は同封のチラシをご覧下さい。

### \*6月21日(水) 市政出前トーク

市の職員の方から話を聞く学習会を企画いたしました。

身近な問題ですから是非ご参加ください。

テーマは住宅などの耐震対策についてです。

場所、時間 昭和区役所会議室 午前10時～11時30分

詳細は同封のチラシをご覧下さい。

4月14日(金) 午前10時より

昭和区役所 2階 講堂にて

昭和鯉城会 総会 を開催します

☆皆さん是非出席をしてください

## N H K を見学して

18期（生活A） 篠田 敦子

銀色に輝くNHK名古屋放送センタービルに、38名の鯨城会メンバーが集まりました。1991年8月に地上21階、地下4階のビルがオープンしました。電波の妨げにならないように、テレビ塔の展望台より低い建物にするとの規定によりビルの高さは90メートルになったとのこと。

2003年12月に、東京、名古屋、大阪にてデジタル放送が開始されました。デジタル放送により、高画質、高音質の画像を見る事が出来るようにもなりました。又、データ放送により、生活に必要な情報を簡単に得ることが出来るようになり、2006年4月からは携帯電話でも情報が得られるようになります。

ドーモ君、ななみちゃんに迎えられて放送ワンダーランドへ案内されてゆきました。鯨城会メンバーのうち希望者二人がニュースキャスターを体験されました。プロンプターシステムでは、真つすぐ前を向いたままで前方に映し出される文字を読む、机上有る原稿は手でめくることとなります。

目と手の動きの正確さや時間配分の難しさが良く分かりました。前々から疑問に思っていた、プロンプターの仕組みが分かりとても良かった。

アナウンサーは、一分間に300文字を読むとのこと。正確さと限られた時間の配分に、さぞ神経を遣うことでしょうネ。

最後に中學生日記のスタジオを見学しました。一回の放送時間の為に二ヶ月の準備期間が必要とのこと、又、撮影には7~8時間がかかるとのこと。

良い作品を作る為には必要なことですが、少々びっくりしました。

“ライトは出演者をとても美しく見せます”との案内係の説明に誰かから間髪をいれずに“私にもライトを一杯当てて下さい”との叫びが聞こえ、皆が大爆笑でした。思い切り笑うと言う事が本当に楽しいと思いながら、昔中學生日記に教師役で出演していた亡き友の顔が浮かび、胸が一杯になりました。

今日は、先端技術の一部を見たり、聴いたりすることが出来、とても良い見学会でした。本当に有難うございました。

\*\*編集部より一言 本当に誰もがライトが欲しいですね  
顔にも、そして心にも。

## 「熱田神宮の初詣」に参加して

18期（健康） 小林 久江

“熱田さん”と親しまれている 熱田神宮の初詣は、冬晴れの1月19日（木）伊吹風の冷たい北風に震えながら、総勢28名が参加しました。森の木々は、枝先を擦り合わせて歓迎をしてくれました。

鯨城学園卒業のボランティアガイドさん二人に御願いして、二班に分かれて案内をして頂きました。

ご祭神は熱田大神である天照大神、ご神体は三種の神器の一つである草薙神剣、相殿の五柱の神は、天照大神、日本武尊、素盞鳴尊、宮簀媛命、建稲種命の五神である。

今の熱田神宮は昭和30年に建造され、伊勢神宮の遷宮（昭和28年）の御正殿を戴いたもので、築60年を経ているものです。

ご本殿は神明造、銅版葺であり、別宮1社、摂社12社、末社31社が境内外に鎮祭されています。

境内は19万平方メートル（約57千坪）あり、古来不老不死の理想郷である蓬莱の一つとして尊ばれていました。楠の巨木が多く、樹齢1000年前後のものが数本と、弘法大師お手植えとされる大楠、大正・昭和天皇お手植えの楠も拝殿の前にありました。

史蹟、伝説の由来も数多くあり

- \*龍影閣 明治天皇がご臨幸された際の木造二階建てのご休憩所
- \*西楽所 徳川五代将軍綱吉の再建による舞楽神事の楽所
- \*信長塀 織田信長が桶狭間の合戦での戦勝記念に奉納した築地塀
- \*佐久間燈籠 佐久間大膳亮勝之が、海上で台風に遭い、当神宮に守護を祈り難を逃れたお礼に1630年に寄進した8メートルの大燈籠
- \*二十五丁橋 板石25枚で造られており、名古屋で最古の石橋

このほかにも、花が咲いても実のならない“ならずの梅”、茶人の愛好する“太郎庵椿”などが点在し歴史の話題に事欠きません。

また、お清水さまの湧き水（今は水道水）は、目がよくなり、美肌になるとの言い伝えがあり、泉の真ん中にある石に一発でひしゃくの水をかけると美人になれると言うので、私もさっそく試してきました。

ガイドさんの説明を聞きながら、見て、歩いて、知ることが楽しくなり1時間30分があっという間に過ぎてしまいました。

昼食の ひつまぶし を美味しく頂き、満足の日でした。

## 「大須演芸場寄席」に参加して

9期（園芸） 栗田 龍彦

2月17日（金）、2月にしては珍しく穏やかな日でした。年に一度の寄席見物、うれしいひと時を過ごさせて戴きました。特に頭を使うわけでもなく、芸人さんの熱演に聞き惚れて、気さくに喚声を挙げ、又声を出して笑い倒れるのが、大衆演芸寄席の面白さではないでしょうか。

（御園座等ではそうはいかない）

私の記憶では、確か平成9年に名東・昭和が合同し、この寄席見物会が行われ、今年で10回目を迎えたと思います。

さて、今回も落語から昔懐かしい渋味の新内・都々逸等各芸人さんの名人芸の数々、中でも印象に残ったのは「独楽」（柳家三亀司）の芸、それに何と言っても、鉄一丁で何でも作る「紙切り」芸（大東 両）、この道一筋に鍛え抜かれた技に、観客先から、大きな拍手とどよめきが湧き挙がりました。

何十年と積み重ねた芸道一筋の技に心打たれるものを感じて家路を急ぎました。又 来年も元気で是非参加したいと思って居ます。



この日楽しんだ、紙切り芸の“大東 両”マジックの“ふしぎ光”、落語の“雷門獅籠”さんの看板が並ぶ入り口

\*\*編集部より一言 建築後41年が経つと言う建物、館内にぐるりと吊るされた赤い提灯、のどかな時間がながれてゆく、数年まえに“みやこ蝶々”さんが特別出演して満員の大盛況だったと言うすべてが懐かしい気がする2時間でした。

### アラスカ紀行

17期 (文化B) 神田 史郎

アラスカと言えば、オーロラ、白熊などが連想されますね！  
この自然豊かなアラスカに一度は旅したいと思っていましたが、はからずも昨夏実現したのです。

アラスカ旅行の最適な時期は何時だろうか？ オーロラ鑑賞を中心とすれば、冬季のアラスカ、氷河の崩落・野生動物の観察を中心とすれば、夏季になります。私達は後者を選び8月24日に出発しました。8月下旬になればオーロラも見る事が出来るからです。

アラスカに渡り最も感銘を受けたのは、自然の保護に国家・州政府が巨額な費用を投入し、様々な法律で規制していることでした。又観光客の大半はアメリカ人でしたが、この人達は本当に自然の好きなツーリストで自然に接する態度に学ぶべきものが多くありました。

アラスカで最初に経験したのは氷河クルーズでした。数千年の時を経た巨大な氷河と向き合う一瞬、轟音とともに氷河が海に落ちるさまは、テレビのCMでよく見るそれと全く同じでした。ラッコが氷の合間を愛嬌良く泳いでいるのも人の心を和ませます。

アンカレッジからアラスカ鉄道に乗車して国立公園のあるデナリに向かいました。ゆったり、のんびりした鉄道で、車窓からマッキンレー山やデナリの自然を眺める事ができます。アラスカ鉄道は2階建もあり、展望車、食堂車、味のある車掌さんもいてムード満点、名古屋学院で日本語を勉強したという車掌さんとも話が出来て旅の楽しさを一層盛り上げてくれました。

標高6194mのマッキンレー山の麓に広がるデナリ国立公園は、37種類の哺乳動物、130種類の鳥類が生息する巨大な自然保護地域です。決められたシャトルバスに乗車、経験豊富なガイドが日本語で説明してくれるので大助かり。

野生の動物グリスリー、ムース、カリブ、ドールシーフ、リス等を垣間見ることができ、時にはバスの近くまで来る動物もいました。

アラスカは地上に残された最後の秘境と言うべきでしょうか。往復に時間がかかりかなりの体力を必要としますが、一度は是非行かれる事をお勧めします。

追記一待望のオーロラは雲が出て残念ながら見られず。

## ホノルルマラソンの思い出

18期（生活A） 久保 邦成

昨年の12月11日第33回ハワイホノルルマラソンが行われましたが、一昨年  
第32回大会に参加した時の思い出を綴ってみたいと思います。

仕事を退職してからスポーツクラブに通い始め、なんとなく始めたジョギングで  
したが走り始めて楽しくなり、小牧や豊明そして名古屋シティマラソンとあちこちの大  
会に出場するようになりました。そこで時間制限のないフルマラソンと言うと、かの  
有名なホノルルマラソンです。61歳にしてフルマラソンに初挑戦！

42.195キロ走破できるか、大きな決心でした。

大会当日は午前1時半に起床。風がなくマラソンには最適な天候でした。  
4時過ぎにホテルを出発し、歩いてスタート地点のアラモアナ公園に向かいました。  
公園は大変な数のランナーで埋め尽くされ、それは圧巻でした。参加したランナーは  
推定3万人。そのうちなんと過半数が日本人とのこと。驚きました。

午前5時、外はまだ真っ暗ですがいよいよスタート、空は数十発の花火が打ち上げ  
られ、私たちを送り出してくれました。スターターはアテネ・オリンピック女子マラ  
ソン優勝の野口みずき選手、近くで見る野口選手は小柄でとてもチャーミングでした。  
さすがオリンピックの金メダリスト！スターターの仕事を終わるとすぐに5マイル  
地点のワイキキの中心カラカウア通に駆けつけ、ランナー達に声援を送っていました。

スタートしてから暫く平坦な道を行くと、いよいよ難所のダイヤモンドヘッドの  
上り坂！この坂はなんと1キロも続くのです、坂にさしかかると急にスピードが落ち  
ていきます。しかしここは何とか気力でしのぎ9マイル地点のカハラで夜明けを迎え  
ました。朝日に染まる海は絶景でした。

順調に走ってきたのですが、ちょうど中間点のマウナルベイビーチ公園辺りで脚が  
重くなり、さらに膝はがくがくし始め、ここからは自分との闘いです。  
せつかくの美しい景色を眺める余裕もなく、ひたすらゴールのカピオラニ公園を目指  
しました。幸い沿道の人達の声援に励まされ、何とか4時間53分でゴールするこ  
とが出来ました。42.195キロはとてつもなく長く厳しく過酷でしたが、走破できた  
という達成感と充実感とで胸が一杯となりました。

また早朝の暗いうちから活動して下さるボランティアの方々や沿道から声援を送  
って下さった市民と一体となって行われるこの大会は、とても魅力的で一年経った  
今でも大変思い出に残るものとなりました。

次の機会にはホノルルのおいしい空気と素晴らしい眺めを満喫しながら、余裕を持  
って完走したいと思っています。

\*\*編集部より一言 いや～驚きました、42.195キロを完走ですよ！！  
久保さんの健脚ぶりに、ただただ敬服あるのみです。

## クラブOB 会便り

---

### 「すばる会」の活動

11 期 (美術) 林 功三

寒さが最も厳しい頃、頭上高くに5~6個の星がこじんまりと集まって、可愛らしく輝いているのが見られます。これが有名な「すばるぼし」で平安時代、清少納言が枕草子の中で星は「すばる」と讚えるなど、古くから人々に親しまれてきました。

(名古屋市科学館資料より)

すばる会の会員数は在校生を合わせて80名です。私は平成8年に天文気象クラブに入会し、在学中は楽しいクラブ活動をしました。

卒業後はすばる会の会員になり、気象の勉強と天文の研究など初心者にとっては難しい事柄を先輩その他の講師から教えられましたが、お陰で天気図の制作と天文に関する基礎知識は少し理解できるようになりました。

すばる会は毎月1回科学館のプラネタリウムで在校生を含めた全員が月例会を行っています。季節の星座の話、火星大接近の話、しし座流星群など、そのときどきの宇宙の話題を専門職員による生解説で聞くことは興味を誘います。

また、御岳市民休暇村とそれ以外にも空気の澄んだ地方には、プラネタリウムと天体望遠鏡を備えた設備がありますが、そのような所を訪ねる観望会を年に1回行っています。観望会は年間行事のうちでも楽しい計画のひとつです。但し、その日の天候に左右され遂に星を見ることなく無念の観望会に終わることもあります。

最近観測技術の進歩により、未知の世界といわれた宇宙も徐々に解明されつつありますが、新説、新発見のニュースなど宇宙を覗く私たち「すばる会」はロマンが絶えません。気の遠くなるような天文学ですが、我々にとっては更に理解し難いことも多く、戸惑いを感じることもあります。そのせいか、椅子に腰掛けてプラネタリウムの夜空を眺めていると、つい「うとうと」と睡魔に襲われ苦勞することがあります。しかし、これからも宇宙の不思議に魅入られて夜空を見上げることと思います。



## 「一木会」の活動

17期 (文化B) 永田 祐千

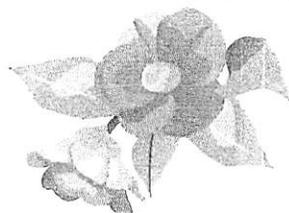
当会は鯉城学園 万葉植物研究クラブの卒業生を主体に構成されています。学園創立の昭和 61 年に発足し、平成 17 年 4 月現在では第 1 期生から第 18 期生まで全ての期の卒業生が在籍し、総数 143 名となっております。下部組織に薬草、俳句、短歌、植物画、写真の各サークルが独自に活動する他、東山植物園ガイドボランティアに多くの会員を送り込んでいます。

年 1 回 “一木会” を東山植物園の植物会館にて 3 週間開催しております。会員のサークル活動及び趣味の成果を発表する場であり、万葉植物に関する俳句、短歌、植物画、写真、染色そして丹精込めて育てた万葉植物等を展示いたしておりその都度新聞にて報道もされています。

月 1 回の例会では、学園で聴講しました刀根文雄先生、中川篤先生の他染色の先生、生物の先生等をお招きして講義を受けるほか、万葉のふるさと飛鳥路ほかの日帰旅行で研鑽と親睦を深めています。

薬草サークルでは、月 1 回鶴舞公園の緑化センターで例会を持ち、種苗の交換、名城大学元教授ほかの講義を受ける。足助などの郊外に出かけ山菜を採集し料理方法を先輩などから教授を受け、食卓をにぎわす。スギナを採集し 1 年分のスギナ茶を作る。野ぶどう採集で薬効豊かな常備薬を作る。水苔を採集して鉢植えの材料にする。夏には宿泊して御岳まで出かけクマザサを採集し 1 年分のクマザサ茶を作るなど、初体験に加えて健康作りに資する活動は年齢を重ねるにつれ興味深く取り組んで行けます。

一木俳句会は月 1 回句会を開催しております。句会では各人が 5 句を出句し、選句します。選句は全員が各人から出された句を清記し、その中から 5~7 句を選びます。選句が終わりますと各自がそれを発表し、全員で素材、季語、表現等につき話し合いををするという形で進行します。はじめは戸惑いましたが会合を重ねるにつれ興味を増し、花に、鳥に、雪に、自然と親しく対話できている様な幸せを感じられる様になって来ていると自負しています。



### 近況報告

代表 14期 近藤 勇雄

昨年12月の気候は20数年振りの寒さで名古屋も積雪に見舞われました。しかし会員の皆さんは相変わらず大変元気で、この寒い中を自転車でスポーツセンターに来て下さいます。お陰様で出席率は70%を上回る盛況です。

クラブとしては急に寒くなってきましたので会員の要望もあり、急いで長袖のユニホームを調達し、なんとか年始の練習に間に合わせました。

会の運営はお陰様で相変わらず順調です。

平成18年度上期(4月～9月)の会場確保も心配しておりましたが、8月9日だけ第1競技場を使いますがそのほかの23回は従来どおり3階の第2競技場を確保しました。これで月4回、毎週水曜日午後実施できることが確定しました。

19期生の皆さんも4月の昭和鯉城会総会後のご入会をお待ちしております。ご参考までに上期4月～9月の練習日をお知らせいたします。

いずれも水曜日の午後1時:15分～2時45分、吹上のスポーツセンターです。

#### 記

(当面の実施日)

4月	5日	12日	19日	26日	
5月	休み	10日	17日	24日	31日
6月	7日	14日	21日	28日	
7月	5日	12日	19日	26日	
8月	休み	※ 9日	16日	23日	30日
9月	6日	13日	20日	27日	

※8月9日だけは第1競技場です

以上

## グランドゴルフクラブニュース

### 平成17年度昭和鯉城会グランドゴルフ大会

17期 (文化B) 永田 祐千

恒例となっております、年に一度の昭和鯉城会グランドゴルフ大会を3月7日(火)開催いたしました。  
昭和鯉城会全員を対象とした大会で、いつも練習をしている名古屋高速吹上高架下広場(ミニスポーツ広場)にて21名の参加となりました。  
当日は風もない好天に恵まれましたが、前日の雨により小石などが多数露出する悪コンディションに加えて、今年度有終の美を飾りたいと言う勝気が空回りした感じでスコアが伸びず成績は相対的に低調でした。  
しかし成績発表及び賞品授与式では、今年一番の暖かさに中で笑い声も高く、そして多く、和やかに来年度のさらなる健闘を誓い散会しました。

#### (上位入賞者とスコア)

優勝	春日井正幸	42	6位	光崎 俊男	47
2位	大野 敏博	43	7位	長戸 俊郎	48
3位	国松 篤美	46	8位	近藤 清晴	48
4位	吉村 卓次	46	9位	後藤 林造	48
5位	高瀬 みちよ	47	10位	佐治 正夫	49

(注) 同スコアの場合は年齢上位者を上位とする。

#### <お知らせ>

平成18年度グランドゴルフの開催スケジュールは、総会資料に掲載しましたのでご覧下さい。

- \*プレー開始時間、午前10時から(7~9月のサマータイム期間は9時30分)
- \*第1火曜日、第3火曜日は競技日とし、当日は会費100円とする。
- \*第2火曜日、第4火曜日は練習日とし、会費は不要。
- \*5月の第1火曜日は休み。第5火曜日は競技日とする。
- \*10月の第5火曜日は休み。

以上

# ボランティア

## タオル・雑巾ご提供のボランティア ご協力に対するお礼のこと

昨年9月発行の 昭和こじょう会便り 41号にて全会員にご協力をお願いいたしました首記タオル・雑巾のボランティアに対して初めての呼びかけにも拘わらず殆ど全会員から多数のご協力を賜り、予想を上回る合計470枚にも達しました。

早速12月20日下記施設を訪問して配布、贈呈しましたところ、すべての施設より感謝とお礼の言葉を頂きましたのでここにご報告して深く感謝申し上げます。

尚その際に ①なごやかハウス福原では垣根の樹木の剪定と管理を ②名大留学生会館では花壇の植栽管理を ③デイサービス竹の家では話し相手とか囲碁の相手とか遊び相手に来て欲しいとのことでした。これらご協力の意向おもちの方は是非多数お誘い合わせの上各施設へご連絡くださるようお願いいたします。

贈呈先名	枚数	所在地	電話番号
① 昭和区社会福祉協議会	50枚	御器所 3 - 18 - 1	884-5511
② なごやかハウス福原	50枚	福原町 1 - 40	781-7703
③ 名大留学生会館	60枚	陶生町 2 丁目	853-2901
④ デイサービス竹の家	20枚	桜山町 1 丁目 2	853-0223
⑤ 八事コミュニティセンター	20枚	広路町南山79	832-5861
⑥ 広路コミュニティセンター	30枚	川名本町 2-10-1	753-2266
⑦ 広路デイサービスセンター	30枚	川名本町 5-43-1	751-1324
⑧ デイサービスセンター鶴舞	30枚	鶴舞 4 - 2 - 9	732-7872
⑨ デイサービスセンター御器所	30枚	御器所通 2 - 10	858-2381
⑩ デイサービス S 白川の郷	20枚	石仏町 1 - 1	841-1900
⑪ 南山の郷	30枚	南山町 5	831-3451
⑫ デイサービス S 陽だまりの家	20枚	松風町 3-3-2	841-7209
⑬ 荒畑もちの木共同保育所	20枚	鶴舞 4 - 17 - 29	733-7506
⑭ ライトハウス内陶芸同好会	30枚	川名本町 1 - 20	761-7671
⑮ 昭和生涯学習センター	30枚	石仏町 1 - 48	852-1144

また今後とも多角的かつ積極的にボランティア活動を展開すべくご提案申し上げますので皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

有難うございました。

昭和鯉城会 役員一同

俳句

後藤 林造 (十一期園芸)

からからと 落ち葉はうきに 後はず  
香場の 菊にこまれる 声を聞く  
捨てられて なお競ひ咲く 菜花かな

栗谷 任 (十七期園芸)

膝にのる 猫の温みや 今朝の冬  
潮引いて 鳥の動きや 冬日差し  
今宵又 寒波の流れ 酒を酌む

石橋 政雄 (十七期環境)

新年会 伊勢海老の髭 見定めつ  
海女小屋の とろ箱乱れ 寒厳し  
海女の径 行けば越冬 つばめ出で

柴田 鈴子 (十六期文化)

去年今年 くぎりの鐘や ゆめ託す  
風呼んで 火の生き返る 落葉焚  
暮れてまた 人混む城の 桜かな

永田 祐千 (十七期文化)

ひよどりの 騒まつ庭の 椿落つ  
片栗の 花のあの日を 拾ひゆく  
風すさぶ 苔むす城の 白き梅

近藤 里美 (十七期文化)

瑠璃瓦 即瑠璃浄土 牡丹の芽  
雪割草 伊吹山も少し 動き出す  
花あれば 旅衣また 花衣

# 短歌

後藤 林造 (十一期園芸)

ジーンズを破りのぞかす白き肌の

若き主張に戸惑ひてをり

砂を噛むごとき講義に座りゐる

上ながれゆく限りあるとき

栗谷 任 (十七期園芸)

枝落つる雪のひびきのひそまりて

土蔵の壁に夕日うつれる

障子戸の棧にさしこむ夕日さえ

既に春なり睦月つごもり

石橋 政雄 (十七期環境)

古市の法被揃へて伊勢音頭

唄ひ上ぐるや声調調と

寒暁の静寂を破りエンジンの

音立て船は暗き漁場へ

柴田 鈴子 (十六期文化)

森まもる木霊の恋の手すさびか

篠笛の音風に乗りくる

用店にまた明かり消ゆ夕闇に

商店街のネオン鈍く光れる

木村 恒 (十八期生活)

少しだけ秋色の本と白い砂

庭を賞でつつお茶をいただく

むらさきのサザンクロスは星の形

枯れたる庭の片隅に咲く

岩波 美穂 (十八期文化)

春立てどなお寒ざむと細き雨

音なく降りて雪に変わるや

日に増して入り日の遅くなりて来つ

夕影及ぶ部屋内明し

## ニュース

### ☆ 春の昭和区行事

\*鶴舞公園の春まつり 4/1~6/30

期間中園内で様々な催し物が行われます。

一度お出掛けになつては如何でしょうか。

\*八事の森の春まつり 4月29日(土)

会場 興正寺境内

内容 八事山を歩こう会

自然観察と史跡散策ウォーキング

森の音楽祭、フリーマーケット

環境関連団体ブース展 ETC

(昭和鯉城会では“八事山を歩こう会”に参加します。)



### ☆ 広報部よりのお知らせ

昭和鯉城会の広報部では会員の皆様から広報誌の原稿を募集しております。

身近な情報をはじめ、趣味・旅行・クラブ活動の活動状況、短歌、俳句、その他どんな話題でも結構です。原稿は常時募集しておりますが、6月号は5/15、9月号は8/15を締切とさせていただきます。

どうぞ気楽に、役員、広報委員、ブロック委員にお電話下さい。

連絡先 大野 敏博

TEL/FAX 763/5758

(編集後記)

もうすぐ心躍る春がやってきます。今年はどこの桜を見に行きますか  
4月から新しく19期生が入会され、当会も200名を越す大所帯となります。  
縁あって仲間となった皆様とのふれ合いを大切にしたいと思っています。  
皆様4月14日の総会には是非ご出席いただきます様、お待ちをしています。

### 昭和鯉城会会報『昭和こじょう会便り』43号

発行責任者： 辻 慶明

編集委員： 近藤 里美 可児島 英夫

永田 祐千 大野 敏博

吉田 一郎 小林 久江